

みずほCustomer Desk Report 2021/03/12 号(As of 2021/03/11)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	108.51
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.45	1.1924	129.31	1.3931	0.7732
SYD-NY High	108.81	1.1990	130.04	1.3996	0.7793
SYD-NY Low	108.36	1.1915	129.28	1.3918	0.7724
NY 5:00 PM	108.50	1.1986	130.04	1.3994	0.7787

NY DOW	32,485.59	188.57	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	13,398.67	329.84	日本10年債	0.1000	▲2.00bp
S&P	3,939.34	40.53	米国2年債	0.1419	▲1.19bp
日経平均	29,211.64	175.08	米国5年債	0.7852	▲0.31bp
TOPIX	1,924.92	5.18	米国10年債	1.5344	1.40bp
シゴ`日経先物	29,290.00	185.00	独10年債	-0.3320	▲2.00bp
ロンドンFT	6,736.96	11.36	英10年債	0.7335	2.15bp
DAX	14,569.39	29.14	豪10年債	1.6850	▲4.10bp
ハンセン指数	29,385.61	478.09	USDJPY 1M Vol	6.05	▲0.43%
上海総合	3,436.83	79.09	USDJPY 3M Vol	6.38	▲0.20%
NY金	1,722.60	0.80	USDJPY 6M Vol	6.58	▲0.21%
WTI	66.02	1.58	USDJPY 1M 25RR	-0.40	Yen Call Over
CRB指数	194.545	2.49	EURJPY 3M Vol	6.78	▲0.28%
ドルインデックス	91.42	▲0.40	EURJPY 6M Vol	7.05	▲0.18%

東京	東京時間のドル円は108.45レベルでオープン。序盤に108.36まで下げる場面があったもののすぐに反発。マイクス圖で始まった日本株がプラス圏へ浮上したことや、米金利が1.5%台を確りと推移したことで108.81まで上昇し、108.75レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.75レベルでオープン。米長期金利を覗みながらの展開が継続。朝方108.38まで売られるも、昼過ぎのECB理事会を控え米長期金利の低下が収まると徐々に買い戻され108.52レベルでNYに渡った。ユードルは、1.1924レベルでオープン。朝方1.1969まで堅調に推移するとECB理事会を待つ間は小幅もみ合いに。昼過ぎにECB理事会にてECBが債券購入を柔軟に対応する構えを見せると欧州国債金利の低下とともにユーロも若干下げ1.1955レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でドル円は108.81まで戻す局面もあったものの、ECB理事会を前にドル売りが強まったことから108.38まで反落し、108.52レベルでNYオープン。朝方はユードルが買われる動きにドル円はやや下押しするが、米新規失業保険申請件数が予想を下回ったことや、ユードルが下落する動きに108.71まで戻す。午後は米30年債入札が好調ともいえないものの、すごく悪い結果でもないの一旦米金利が低下する動きにドル売りが強まり、ユードルも再び買い戻される展開に108.36まで反落する。終盤に掛けてはイベントを終えたことから狭いレンジでの推移が続く108.50レベルでクロスした。一方、ECB理事会を前に見て戻しから海外市場で1.1969まで戻したユードルは、1.1955レベルでNYオープン。朝方は、ECB理事会後の定例記者会見で、ラガルドECB総裁が具体的な数字はないが、今後3か月でPEPPの購入ペースを早めることを発表し、一旦ユードルが下落するものの、「ECBはイールドカーフコントロールをやっていない」と発言したことから、市場ではイールドカーフが上昇してもよいと捉えられ、ユードルは1.1974まで戻す。その後はイベント終了から利益確定の売りが持ち込まれ1.1928まで反落するが、「ECBは追加緩和につながる債券購入の加速は意図していない」とのヘッドラインを受け、ユードルは再び買い戻され1.1990まで戻す。しかし、1.2000付近では売り意欲も強く、終盤に掛けては高値圏での推移が続く、1.1986レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経緯とは変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権はすべては銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することは禁じます。なお、当行は本情報を無償で提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想
3月11日	21:45	欧	ECB主要政策金利	11-Mar	0.0%
	21:45	欧	ECB預金ファシリティ・レート	11-Mar	-0.5%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	6-Mar	712k
					725k

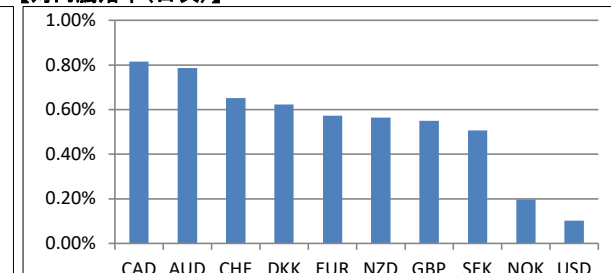
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月12日	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	1月 -1%/ -4.4%	0.2%/ -3.3%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	1月 -1%/ -3.7%	0.3%/ -2.5%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月 0.5%	-1.6%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月 0.5%/ 2.7%	1.3%/ 1.7%
3月13日	00:00	ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 78.5	76.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00—109.00	1.1930—1.2030	129.50—130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上に往ってこいの展開となった。東京時間は、日経平均の堅調推移を横目に108.81まで上昇。海外時間に入り、ユーロドルが買われる展開にドル円は108円台前半まで値を下げるも、その後のECB理事会にてPEPPの購入ペースを加速させることが報道されると欧州金利低下からユーロが売られる展開にドル円は108.70近辺まで値を戻す。一巡後は、ユーロドルが買い戻される動きにドル円は低下し108円台前半にて推移。

本日のドル円は108円台にて方向感に欠ける展開を予想。ECB理事会を通過し、来週にFOMCを控える中、徐々に様子見ムードが強まるであろう。引き続き、米金利主導で108円台での値動きとなるであろう。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ペア
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル		9	12